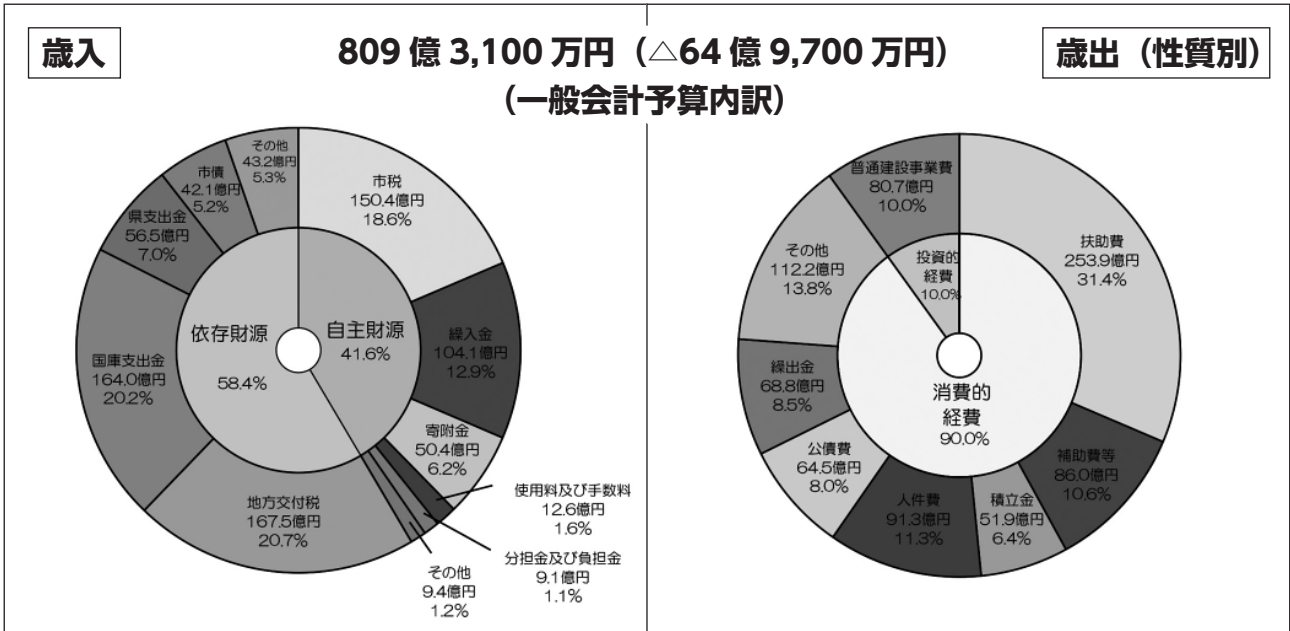


# 飯塚市の財政状況 令和6年度 予算

●お問合せ 財政課 (☎内線 1361 ~ 1364)

令和6年3月19日に開催された市議会本会議で、令和6年度の当初予算が可決されました。

令和6年度は一般会計で809億3,100万円(前年比△7.4%)となっています。また、特別会計においては、9つの特別会計の合計で548億6,791万円(前年比 +1.1%)となっています。



## ☆一般会計歳入歳出予算の特徴

### 【歳入】

令和6年度の特徴としては、令和5年10月1日以降のふるさと応援寄附単価の値上げに伴うふるさと応援寄附金の減などによる寄附金の減(△49.8億円)、繰入金の減(△29.1億円)が挙げられます。

一方で、個人市民税や固定資産税などの市税は増(+1.7億円)、扶助費の増などによる国庫支出金は増(+11.3億円)や、普通建設事業費の増に伴う市債は増(+6.3億円)となっております。

自主財源及び依存財源の割合は、それぞれ41.6%(△5.9ポイント)、58.4%(+5.9ポイント)となっており、依然として依存財源の割合が高い状況が続いています。今後も個性ある独自事業や自主的な財政運営ができるよう、引き続き自主財源の確保に努める必要があります。

### 【歳出】

前年度と比較すると、総額で約65.0億円の減となっています。主な要因としては、ふるさと応援寄附事業費などの積立金の減(△49.7億円)や、返礼品費などの補助費等の減(△32.3億円)などが挙げられます。

#### ※自主財源と依存財源

自主財源は、税金のように市が自分で集めるもので、依存財源は補助金のように国や県などからもらうものです。

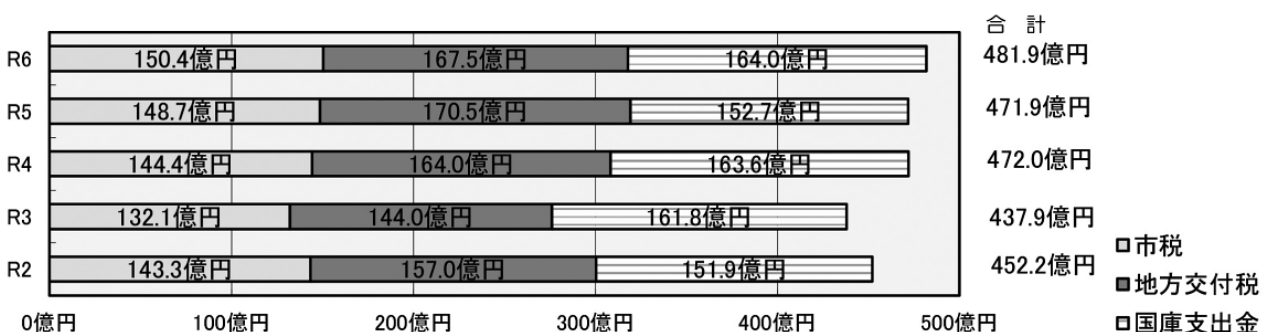
依存財源の割合が高いと、国や県の動向で歳入が大きく増減するため、財政運営が不安定となります。

#### ※消費的経費と投資的経費

消費的経費は扶助費など後年度に形を残さない経費で、投資的経費は道路の建設事業費など後年度に形を残す経費のことです。

## 3大財源の推移

歳入のうち、市税・地方交付税・国庫支出金を「3大財源」と呼び、本市の全収入の約6割はこの3大財源が占めています。

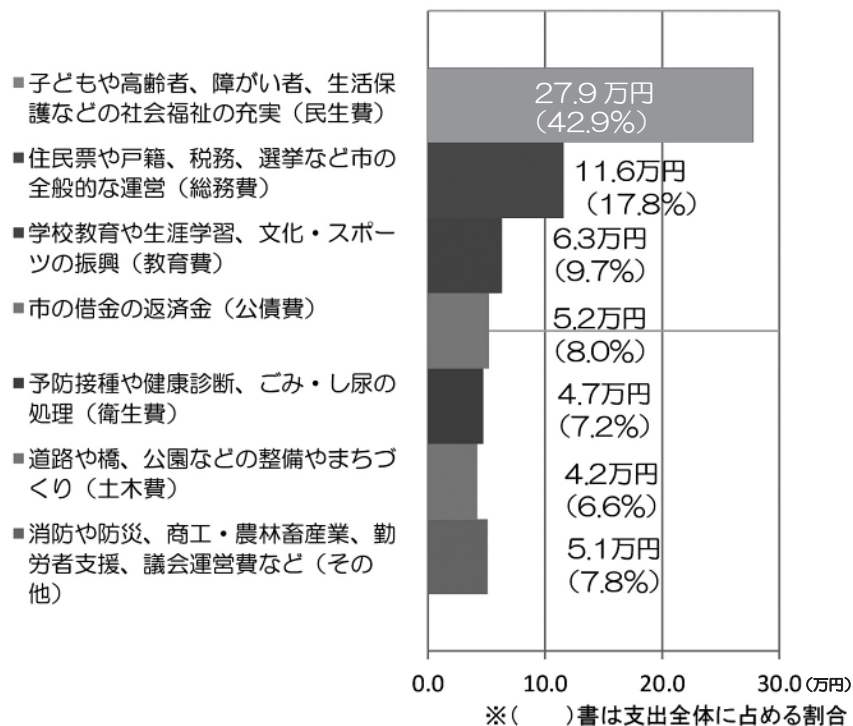


## 目的別歳出 ～市民一人あたりの負担額は？～

予算がどの分野にどのくらいの比重で支出されているか分類したものを「目的別歳出」といいます。一般会計の歳出予算額を市民一人あたりに換算すると65万420円となり、目的別に分類すると下記のとおりです。

民生費は全体の約4割を占めており、障がい者などの社会福祉の充実に伴い、今後ますます膨らんでいくことが予想されます。

(令和6年3月31日 飯塚市の人口：124,429人)



## 令和6年度 特別会計歳入歳出予算

区分	令和6年度		令和5年度		増減率
	うち一般会計繰入金	うち一般会計繰入金	うち一般会計繰入金	うち一般会計繰入金	
国民健康保険	132億9,705万円	14億 450万円	132億8,180万円	14億 226万円	0.1%
介護保険	156億9,914万円	24億6,402万円	155億5,284万円	24億8,553万円	0.9%
後期高齢者医療	23億1,013万円	6億7,329万円	21億3,987万円	6億3,046万円	8.0%
小型自動車競走事業	226億7,264万円	-	228億円	-	△ 0.6%
農業集落排水事業	2,834万円	2,352万円	2,755万円	2,268万円	2.9%
地方卸売市場事業	1億8,992万円	9,815万円	2億1,794万円	1億1,703万円	△ 12.9%
駐車場事業	3,459万円	1,586万円	3,890万円	2,528万円	△ 11.1%
工業用地造成事業	6億 848万円	3億5,767万円	2億1,240万円	-	186.5%
汚水処理事業	2,762万円	973万円	2,513万円	294万円	9.9%
計	548億6,791万円	50億4,674万円	542億9,643万円	46億8,618万円	1.1%

## 予算編成方針について

令和6年度は、これまで取り組んできました市政発展の流れを止めることなく、引き続き「前進」させるため、「未来を担う子どもを育む教育のまち」、「高齢者が安心して暮らせる福祉のまち」、「地元で働く場所がある活力あるまち」、「文化やスポーツが盛んな健康なまち」を4つの柱としたまちづくりの取組を加速させ、飯塚市の価値をさらに高め、魅力ある元気なまちの実現に向けた予算編成に取り組みました。

### 令和6年度のおもな事業

#### 人権・市民参画

- 人権教育・啓発基本指針推進事業
- まちづくり協議会活動推進事業
- 家事・育児シェア促進事業

#### 行政経営

- デジタル化推進事業
- 公共施設等総合管理計画策定事業
- シティプロモーション推進事業

#### 健幸・子育て

- 第2子以降保育料等無償化事業
- 飯塚市立病院小児科休日・夜間診療事業
- 私立保育所整備補助事業
- 児童虐待防止対策事業
- グラウンドゴルフ場整備事業
- ファミリーサポートセンター事業

#### 地域経済

- オートレース場メインスタンド整備事業
- 飯塚あかね・栗尾工業団地造成事業
- 地域雇用活性化推進事業
- 地元ブランド化推進事業

#### 教育・文化

- コミュニティセンター改修事業
- 全国大会等出場報奨事業
- 小中学校運営管理事業
- 小学校学級編成事業

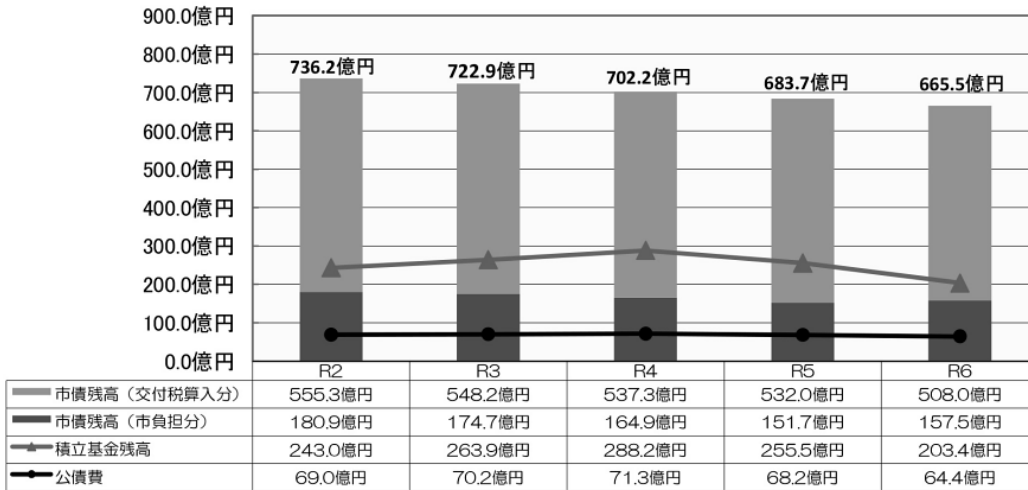
#### 都市基盤・生活基盤

- 飯塚駅周辺整備事業
- 市民公園運動広場施設整備事業
- 浸水対策事業

#### 自然環境

- 有害鳥獣駆除対策事業

## 積立基金残高（貯金）と市債残高（借金）・公債費（借金の返済額）の推移



※ 普通会計（一般会計、汚水処理事業特別会計）の合計額を表示しています。

R2年度～R4年度は決算額、R5年度～R6年度は見込額です。また、市債では地方交付税に算入されるものがあり、R5年度及びR6年度については、R4年度と同じ算入割合で見込み計算しています。

### ○積立基金残高(貯金)

#### 市民一人あたり 16.3万円

基金は、年度間の財源調整、予期しない収入減少や急な支出増加への対応のため、あるいは、特定の目的(事業)に活用するために積み立てた資金です。

令和6年度は、穂波庁舎改修事業やコミュニティセンター改修事業などの施設整備にかかる経費や、第2子以降保育料無償化事業やふるさと応援寄附事業の経費などに充てるため、104.2億円の基金を取り崩す予定としています。

### ○市債残高(借金)

#### 市民一人あたり 53.5万円

市債は、市が行う事業に充てる長期の借金です。本市では、償還額の全額が地方交付税として交付される「臨時財政対策債」や、70%が交付される「合併特例事業債」など交付税算入率の高い市債を中心に活用しており、令和6年度は、コミュニティセンター改修事業などの大型事業に市債を活用する予定としています。

普通会計の市債残高は、令和6年度末で665.5億円の見込みとなっており、令和6年度はグラウンドゴルフ整備事業や文化会館改修事業が完了したことや、臨時財政対策債の借入見込額が減少したことから、前年度と比べ残高が減少しています。そのうち地方交付税として交付される見込みの508.0億円を除いた157.5億円が本市の実質的な負担見込みであり、市債残高の23.7%となっています。

## いづか家の家計簿（令和4年度～令和6年度の3年間予算）

市の予算は、規模が大きくてなかなか実感しにくいと思います。そこで、仕組みは違いますが、少しでも身近に感じてもらえるように、令和6年度一般会計予算額を年間収入400万円台の家計に例えて、令和4年度～令和6年度の3か年の家計簿を作成しました。

収入総額は、臨時手当や預金の取崩しが減ったことにより、前年度より32万円減っています。支出では、食費や医療費、借金の返済といった必ず支払わなければならない費用が約6割あり、経費を切り詰めるなどの努力をしていますが、収入が前年度を大きく下回った影響から家族への仕送りや預金が前年度より減ったため、支出総額が減りました。

今後も引き続きムダをなくすとともに、毎年同じように臨時手当があるとは限りませんので、少しでも多くの収入を確保する努力を継続しなければなりません。

収入		令和4年度	令和5年度	令和6年度	支出		令和4年度	令和5年度	令和6年度
給料	基本給 (市税、使用料、手数料、諸収入など)	88万円	89万円	90万円	食費 (人件費)	41万円	43万円	45万円	
	諸手当 (地方交付税など)	84万円	86万円	84万円	医療・介護・子育ての費用 (生活保護費などの扶助費)	115万円	119万円	126万円	
	臨時手当 (寄附金)	32万円	50万円	25万円	光熱水費、衣類購入などの生活雑費 (物件費)	48万円	52万円	48万円	
	親からの仕送り (国・県からの補助金、地方譲与税など)	127万円	125万円	129万円	家・車・家電製品などの修理、購入費用 (維持修繕費、投資的経費)	44万円	42万円	46万円	
借金 (市債)	18万円	16万円	20万円	家族への仕送り・お小遣い・会費 (他の会計への繰出金、補助費等)	81万円	90万円	76万円		
預金の取崩し (繰入金)	51万円	66万円	52万円	借金の返済 (公債費)	36万円	34万円	32万円		
合計	400万円	432万円	400万円	友人などに貸すお金 (貸付金)	1万円	1万円	1万円		
				預金 (積立金)	33万円	50万円	26万円		
				冠婚葬祭費など臨時的な支出金 (その他)	1万円	1万円	0万円		
				合計	400万円	432万円	400万円		